

平成 27 年度 事業計画

はじめに

原油価格の下落、円安・株高などにより、経済環境にもさまざまな変化が見られるようになりましたが、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

平成 26 年度に運営の指針となる「中期計画」を策定し、平成 27 年度から実施して行くこととなり、新しいページへの挑戦という内容もあり、達成には苦労と困難が伴うこととなりますが、センター発展のため積極的に取り組んで参りたいと考えております。

景気も回復基調にあるといわれておりますが、センターにとって新規事業の拡大は容易ではありません。また、国庫補助金の減額に対処するため派遣事業の取り組みが求められており、今年度から皆様方の理解と協力を得、取り組むこととしております。なおまた、引き続き会員一人ひとりが就業開拓を図るため、身近なところから仕事の受注や会員拡大のための取り組みを行う必要があるものと考えております。このためには、仕事を通じてお客様の信頼度を高めて行く必要があるものと考えており、地域社会に信頼されるセンターとしてさらなる努力をして参りたいと考えております。

さらにまた、新規独自事業の検討とさらなる経費の削減に努め将来に向かって、安定した財政運営が図られますよう努力をして参ります。

平成 27 年度は、このような状況を踏まえ次のような事業に取り組んで参ります。

1. 就業に関する情報の収集と提供

センターに活力を与え発展する源として、会員の増加と就業の場の拡大が必要であります。このことから、

- (1) 稲美町、播磨町、兵庫県、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会、その他関係団体等の組織を通じて情報を収集し、会員に提供を行います。
- (2) 一般家庭、民間事業所、公共団体等から就業に関する情報の収集に努めます。
- (3) 年 2 回発行の会報紙「シルバーだより」を稲美町・播磨町内の全戸に配布し、情報の発信を行い会員の募集と仕事の確保に努めます。
- (4) 事務局通信を発行し、情報の提供に努めます。

2. 就業相談等の実施

- (1) 入会説明会等を通じて、入会の促進と就業相談業務を進めます。
- (2) 未就業会員を対象にミスマッチの解消を図るとともに、随時就業相談を実施します。

3. 就業機会の開拓及び提供

センターの趣旨及び事業の目的や内容などの周知を図り、理解を得ながら仕事の開拓に努めます。

- (1) 一般家庭、民間事業所、公共団体等への就業開拓の展開を図ります。
- (2) 現在、実施している独自事業の充実と新たな独自事業の取り組みについて、引き続き調査、研究を行うとともに可能な事業から取り組み就業機会の拡大に努めます。
- (3) 常にワークシェアリング・ローテーションに取り組み、基本理念とする「共働、共助」の具現化に努め、「公平な就業機会」の確保に努めます。
- (4) 掲示板等を活用して、就業情報の提供に努めます。
- (5) 会員一人ひとりが就業開拓員として、身近なところからの就業拡大に努めます。
- (6) 退会会員の減少を図るための一つとして、高齢会員等の就業のあり方や新たな会員制度などについて検討を行います。
- (7) 稲美町支部は、行政区域も広範なことから、地域班の設置について検討を行います。

4. シルバー派遣事業の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施します。

5 有料職業紹介事業

(公社) 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者に職業紹介事業を実施します。

6. 技能研修及び講習会の実施

親切、丁寧な仕事はセンターの事業推進にあたってはなによりも大切なことでもあります。このためには、会員のマナーの向上と技能の向上が必要と考えますので、引き続き講習会などの開催に努めます。

- (1) 就業先でのマナーによるトラブルの未然防止を図るため、マナー向上に係る講習会を開催します。
- (2) 会員の技能の向上及び就業意欲の高揚を図るため、技能研修会・講習会等を実施します。
- (3) 就業時に就業マナー等について、発注者から苦情等があった場合は実情を調査するとともに、適切な対応に努めます。

7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員会の取り組みの充実を図り、会員の安全・適正就業の推進に努めます。

- (1) 会員の就業中、就業途上における事故や怪我の発生を防ぐための取り組みの充実を図ります。
- (2) 会員の就業環境や就業状況を確認するため、引き続き安全・適正就業推進委員会委員による安全パトロールを実施します。
- (3) 安全就業の一層の推進を図るため、剪定や除草などの受注にあたっては、世話人による現場での内容確認の徹底と会員への周知を図り、危険と判断する就業は引き受けないなど安全な作業の徹底に努めます。
- (4) 交通安全意識を徹底するため、支部ごとに加古川警察署の協力を得て、交通安全講習会を開催し、交通事故を起こさない、事故に遭わない運動を展開します。
- (5) 会員の命を守る一つとして、消防署の協力を得て、「救命講習会」・「AED」(自動体外式除細動器)の取扱い講習会を引き続き開催します。
- (6) 就業中に交通事故を起こさない取り組みの一つとして、センターの自動車運転に係る会員の自動車運転適性検査の受講を引き続き実施します。
- (7) 安全就業推進の一環として、安全標語の募集を行いその活用を図ります。 11

8. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの仕組みや事業内容について、いまだによく理解が得られていない面があることから、各家庭や各種団体等に広く周知を図る必要があります。

- (1) 各家庭等にチラシを配布するとともに、理事が中心となって、会員の確保や就業の拡大に努めます。
- (2) シルバー人材センターのPR活動の一環として、夏休み子ども勉強教室や絵画教室など各種事業を継続して実施するほか、様々な取り組みの検討を行い可能なものから実施します。
- (3) 新たな就業の開拓や会員の募集を図る一つとして、常にホームページの充実を図り、最新情報の提供に努めます。
- (4) 新たな家事支援事業などの取り組みにあたっては、女性会員の拡大は不可欠であり、女性会員による会議を設置し検討を図ります。
- (5) 会員が有する様々な趣味や特技・能力などの再調査を行うとともに、これらを生かした事業展開に努めます。

9. 事務事業等の見直し

- (1) センターの運営が大変厳しい状況となりつつあることから、引き続き事務事業の見直しを図ります。
- (2) 事務改善の一つとして、会員が取扱可能な事務について検討を行い、順次会員の協力をもとめて行きます。

(3) 会員・役員・職員が一体となって組織の充実発展に取り組みます。

10. その他の事業

- (1) 会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、日帰りバス旅行を実施します。
- (2) 会員に健康管理に関する情報の提供と自分の命は自分で守るため、健康診査等の受診の勧奨、健康講座の開催のほか看護師による健康相談業務を推進します。
- (3) 年2回発行の会報紙「シルバーだより」について、会員からの投稿などを取り入れるなどにより、内容の充実に努めます。
- (4) イベント等へ参加し、独自事業の展示・即売のほかセンターのPRや会員の確保などに努めます。
- (5) 税理士による諸帳簿類の確認及び指導を受け、情報開示のより適正化を図ります。
- (6) 専門委員会としての安全・適正就業推進委員会、広報委員会、総務委員会のほか支部理事会等を適宜開催し、センターの充実発展に努めます。
- (7) 地域貢献とシルバー人材センターのPRを図る一つとして、ボランティア活動を引き続き実施します。
- (8) 仕事の満足度について、抽出により発注者へのアンケート調査を実施します。
- (9) センターの健全な運営のための引き続き調査及び研究に努めます。
- (10) 理事会の活性化を図り、理事による主体的な活動に取り組みます。

平成27年度 収 支 予 算 書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計 (共益事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	279,293	634	13,023	292,950
受取配分金	240,900	0	0	240,900
受取材料費等	16,700	0	0	16,700
受取事務費	21,693	634	13,023	35,350
受取会費	732	366	366	1,464
正会員受取会費	732	366	366	1,464
受取補助金等	23,540	0	0	23,540
受取連合交付金	11,770	0	0	11,770
受取播磨町補助金	5,885	0	0	5,885
受取稲美町補助金	5,885	0	0	5,885
労働者派遣事業等受託収益	1,310	0	0	1,310
職業紹介事業受託収益	20	0	0	20
指定管理受託事業収益	24,155	0	0	24,155
雑収益	500	0	0	500
受取利息	70	0	0	70
雑収益	430	0	0	430
経常収益計	329,550	1,000	13,389	343,939
(2) 経常費用				
事業費	329,550	1,000	0	330,550
支払配分金	240,900	0	0	240,900
支払材料費等	12,700	0	0	12,700
給料手当	30,450	0	0	30,450
臨時雇賃金	1,970	0	0	1,970
法定福利費	5,670	0	0	5,670
退職金掛金	2,688	0	0	2,688
福利厚生費	169	0	0	169
旅費交通費	210	0	0	210
通信運搬費	1,036	0	0	1,036
減価償却費	95	0	0	95
会議費	100	0	0	100
什器備品費	350	0	0	350
消耗品費	1,593	0	0	1,593
修繕費	3,720	0	0	3,720
印刷製本費	1,110	0	0	1,110
光熱水料費	7,795	0	0	7,795
賃借料	4,720	0	0	4,720
保険料	3,200	0	0	3,200
諸謝金	10	0	0	10
租税公課	1,765	0	0	1,765
支払負担金	39	0	0	39
委託費	4,880	1,000	0	5,880
教材費	20	0	0	20
支払手数料	23	0	0	23
作業適応訓練費	20	0	0	20
貸倒損失	384	0	0	384
賞与引当金	2,549	0	0	2,549
雑費	1,384	0	0	1,384

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計 (共益事業)	法人会計	合 計
管理費	0	0	13,389	13,389
役員報酬	0	0	1,300	1,300
給料手当	0	0	6,500	6,500
臨時雇賃金	0	0	230	230
法定福利費	0	0	1,190	1,190
退職金掛金	0	0	576	576
福利厚生費	0	0	31	31
会議費	0	0	600	600
役員等旅費交通費	0	0	300	300
旅費交通費	0	0	30	30
通信運搬費	0	0	224	224
減価償却費	0	0	0	0
什器備品費	0	0	80	80
消耗品費	0	0	250	250
修繕費	0	0	340	340
印刷製本費	0	0	150	150
光熱水料費	0	0	130	130
賃借料	0	0	330	330
保険料	0	0	100	100
諸謝金	0	0	0	0
租税公課	0	0	207	207
支払負担金	0	0	321	321
委託費	0	0	190	190
支払手数料	0	0	20	20
支払委託金等返還	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0
雑費	0	0	290	290
経常費用計	329,550	1,000	13,389	343,939
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
固定資産売却(除却)損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	45,344	0	△ 9,692	35,652
一般正味財産期末残高	45,344	0	△ 9,692	35,652
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産 期末残高	45,344	0	△ 9,692	35,652